

## □ 講師紹介

・太田 威 1943年（昭和19）中国東北部（旧満州）生まれ 山形県大山町に引き揚げ後、郷里の山や川、海をめぐり、自然に親しむ。東北のブナ林を中心に、動植物、山里の人々の暮らしを撮影・調査を行い、写真家・執筆、講演活動が続ける。尾浦の自然を守る会（ラムサール条約保護地）、日本自然保護協会、日本野鳥の会、日本自然科学写真協会所属。主な著書に、「母なる森ブナ」1991 思索社、「ブナの森」1995 平凡社、「ブナ林に生きる山人の四季」1994 平凡社、「ハクチョウの冬ごし・たくさんのふしぎ」2010 福音館、「ブナの森は、緑のダム」日本科学読み物賞受賞、あかね書房、「ブナ原生林」共著 時事通信社、「トチの木の一年」2012 福音館、他 写真提供、雑誌執筆掲載多数。鶴岡市在住。

・阿部藏之 1946年（昭和21）東京都北多摩吉野村（青梅市）生まれ 木材工芸・デザインを専攻し、父國政流13代江戸指物師の技術を継承。ジョイントシステムのデザイン開発研究業務とともに、1985年から「木の総合学研究」を続けている。「木と人間の関わり展」1985 日本デザイン学会、岐阜県林政部木の国大學1986-1990等をプロデュース。「木の大学講座」1986-1995、ウッドワークサミット1991を開催、運営。1985年からクラフトフェアまつもと開催から現在まで推進協力、サポート。2007年 浅岐地区入山沢「栃の王国」調査・見学、伐採・製材プロジェクトを活動提案、参画。木とデザインの専門家として講演活動などを手がけ、現在にいたる。著書「組手-國政流江戸指し物の美」（2015年5月出版予定）経歴、デザイン作品、研究レポートをブログに掲載中、長野県松本市在住。有限会社AQデザイン開発研究所代表 <http://kurayuki.abeshoten.jp/>

・五十嵐 馨 1954年（昭和29）福島県大沼郡宮下村（三島町）生まれ 椎茸栽培などの職歴を経て林業に従事。伐採技術を習得し、長年にわたり桐の植林や製材加工まで手がけ技能を高める。会津地方屈指の木樵職。高度な特殊伐採を得意とする。現在、林業の環境維持重要性を伝えるため「キコリが語り出す山の学校」講義、実務指導も手がける。2007年から五十嵐善徳等と栃巨樹群生地「栃の王国」の森林調査、伐採・製材見学会を開催。自然を重視した人の暮らしを支える活動にも従事。後進の育成に熱意を傾注している。福島県三島町在住。父二三夫は、スキルが高い葡萄樹皮編組み細工職人として活躍中。夫婦で地域貢献、山里の伝習技能を推し進める。五十嵐林業を自営。  
[木樵が語り出す山の学校] <http://kurayuki.abeshoten.jp/blog/3610>

### ・運委委員・協力者：

青柳昌男・五十嵐善徳・五十嵐 馨・岩淵良太・岩淵美雅子・佐藤美智子・清水健司・諏訪幸彦・武石文敏  
五十嵐乃理枝・五十嵐健太・須藤崇史・平田哲生・阿部藏之